発行月：平成30年9月 家族新聞 第555号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

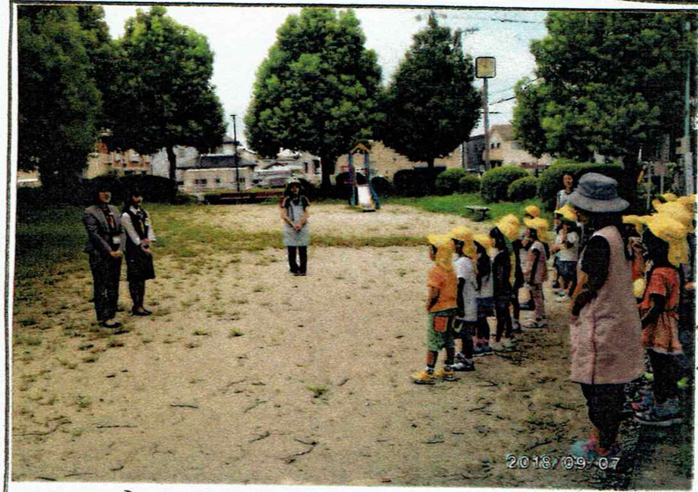
発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878

「名もなきものの力」

平成三十年九月七日(金)
午前十時と十一時

藤池保育園花育（プラスワン事業）三菱UFJ銀行との連携事業を行なった。プランターに植える花は新種が多く藤池公園に明るい花が咲くといいですね。「園児からはすごくきれいで大切に育ててみんなに見てもらいたいと笑い顔で語っていました。」五歳児からこの様な花を自分達で植えて育てることは心の優しさをおもてに出せる一つの大きな教育と思います。水遊びと花の種蒔は子供達にとっての必修科目です。

花をよく育ててね!!



芽を出せば踏まれ人に見つかれば根こそぎ抜かれてしまう雑草達。人は華やかな花を咲かせ庭を飾る草木の機嫌をとるが花壇の隅に遠慮がちに生きる草達を雑草とさげすみその姿を見ようともしない。只の一度もほめられる事のなかった雑草達は己れの非運を恨みもせず人目にふれぬ裏庭の片隅をすみかとさだめ人の助けをかりず旺盛に生き抜く、その雑草達の生き方にどれほど勇気づけられたか。

▲三菱UFJ銀行のおねえさんときれいな花を植えました。

愛知県では環境学習講座や環境保全活動への参加状況（平成28年）環境学習等の取組は一定の進展がみられるものの、負担感を伴うような行動や自主的参加意欲を要する活動は実践率が低いことから、学びが十分行動につながっていないといえる。

・自然観察会 9.9%
・自然保護活動
・河川の汚れ生き物等の調査 26.3% 5.7%
・地域の河川海岸等の清掃活動

「課題」すべての人が環境問題について学ぶだけでなくその解決のために学んだことを活かして具体的な行動を積み重ねていくようになることが環境学習等に求められている。

◀ベゴニヤを植えたよ!!

▶大きな幹の下植えている。